

地域貢献

ごんきやが取り組む チャリティー

葬祭会館で大感謝祭開催

創業200年を迎えた櫛ごんきや（塩竈市、佐藤知樹社長）は、地域に貢献する活動を継続している。

5月29日には、同社の葬祭会館「セレモニア岩切利府楓会館」（宮城野区）で開業10周年リニューアルオープン大感謝祭が行われ、地域住民らが多数詰めかけた。当日は、天使服を身に付け

ひつぎに入ることができるよう棺体験やオリジナルのプレスレットを作る念珠作成、人生を振り返りエンディングノ―

地域住民が歌や踊りを披露

4月24日には、「セレモニア長命ヶ丘梓会館」（泉区）で1周年記念大感謝祭が開催された。

トにまとめる終活セミナーなどが館内で行われた。

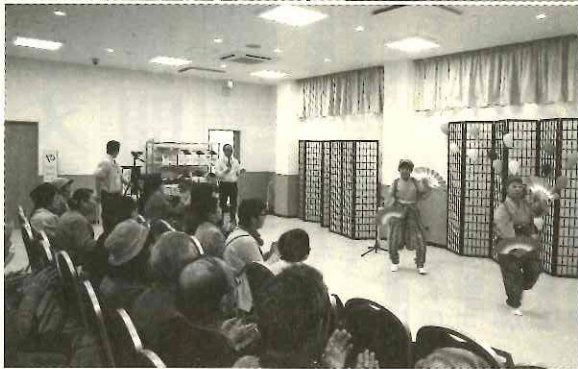
また、家庭で大事にしていた人形などを引き取り、供養する人形供養祭には、五月人形や雛人形などが多数持ち込まれ、導師が読経をあげた。

同社七代目の佐藤仁一郎代表取締役会長は「今回のイベントは、弊社では33回目となります。今後も継続してまいりたい」とあいさつした。

今回は、地域住民による生バンド演奏や南部俵積み唄の踊り、日本舞踊、フラダンスなどが館内で披露され、大いに盛り上がった。

また、会館入口前には特設テントが設けられ、牛たんつくねなどが50円で振る舞われる屋台コーナーが設けられた。

同社は、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会へ寄付を継続しており、大感謝祭では卵、食パン、ラップなどがチャリティーとして販売され、商品を求める長い列ができていた。



上：人形供養祭で手を合わせる。円内は佐藤会長
下：大きな拍手がおくられる南部俵積み唄の踊り